

「タイ文化圏の農耕文化—ラオス北部の稲作を中心に—」

園江 満（東京大学総合研究博物館/東京農業大学国際食料情報学部）

1. タイ文化圏とは？

東南アジア大陸山地部のタイ王国、ビルマ（ミャンマー）、ヴェトナム、ラオス、インド・アッサム州、中国雲南省が交差する地域を中心としたタイ系民族Taiの分布圏を、「多言語、多民族であって、一つの大伝統に支配されるのではなく、さまざまな文化要素を持ちながら、それらを有機的に結びつけている何らかのシステムが存在する一つの複合文化交流圏」（新谷 1998: 11-12）として「タイ文化圏Tay Cultural Area」と呼んでいる。

当初は、日本語でTayとThayが区別できないために「シャン文化圏Shan Culture Area」の語を使用していたが、ビルマのシャン州を中心とした論議との誤解を招く虞があるため「タイ文化圏」に改めた。

2. ラオスの風土

ラオス人民民主共和国 Lao People's Democratic Republic

東南アジア唯一の内陸国 国土面積236,800km²

地理的概況

- ・ 全国土の75%が山と高原
- ・ 温暖夏雨気候（照葉樹林）・熱帯サバナ気候帯・熱帯モンスーン気候
- ・ 季節風による明瞭な雨季と乾季・ヴィエンチャン以南では1週間前後の小乾季

3. ラオスの人びと

多民族国家ラオス

- ・ タイ系民族であるラーオを中心とした多民族国家（49民族（2008））（表1）
タイ・カダイ Tai-Kadai 系、モン・クメール Mon-Khmer 系、ミャオ・ヤオ Myao-Yao 系、チベット・ビルマ Tibet-Burman 系の4言語グループおよびその他
- ・ 居住地標高区分による民族分類（1950年代～）：高地ラーオ *Lāo Sūng*・中高地ラーオ *Lāo Thæng*・低地ラーオ *Lāo Lum*（現在は使用禁止）

4. ラオスの稲作

ラオス農業の概要（1999年統計）

- ・ GDPシェアの5割以上を農業が占める農業国・稲作主生業
- ・ 農地合計：約1,000,000ha（国土面積の4%強）（表2）
- ・ 労働人口の85.5%を農業人口が占める（1995年国勢調査）（78.5%：2005年国勢調査）

- ・ 稲作（収穫）面積：781,900ha（全作目の80%）
- ・ 稲作生産量：2,093,800トン（自給達成）（2,375,100トン/2003年）
- ・ 一人当たり精米消費量：210キログラム（LECS3）

稲作の概況（1998/99 農業センサス）（表 3）

- ・ 農家世帯：667,997 世帯（全世帯の約 84%）
- ・ 稲作農家：614,184 世帯（農家世帯の約 92%）
- ・ 糯性の在来品種を中心とした作付（北部では相対的に粳品種を嗜好）
- ・ 北部では米不足・陸稲依存（表 4）
- ・ ラオスの在来稲（熱帯ジャポニカ：大粒種）

栽培技術

- ・ 苗代：陸苗代と水苗代
- ・ 灌漑：田越灌漑・伝統的堰・揚水水車・柄杓灌漑→中部以南と異なり緻密な管理（表 5）

5. 農作業と農具

- ・ 耕具

水田

犁：中国系杵型犁とインド系軛犁 多様な犁型（表 6）→タイ文化圏と非タイ文化圏

耙：而字型（紗耙）・橈型（踩耙）・均平棒

焼畑（陸苗代）

堀棒：タイ系民族も固有の堀棒を持つ

- ・ 除草具

手鋤（てぐわ）・小鋤

- ・ 収穫用具

鎌（挿入式・被せ式）：形状については少ないバリエーション

穂積具：タイ系民族も使用

陸稲収穫籠：扱きとり（高脱粒性）

6. その他特徴的農具

稲巻棒・打穀板（タタキ台）・打穀棒・打穀棍・穀扇

7. ローラーと歯車

歯車の形状：①二段木栓歯車 double toothed gear（中国起源）

②平行ウォーム（螺旋状）歯車 worm gear（インド起源）

③山形歯車 chevron-teeth gear

- ・ 甘蔗圧搾機（搾糖機）→山形歯車（タイ文化圏固有？）
- ・ 綿轆轤（ろくろ）：平行ウォーム歯車
- ・ 紡車（いとぐるま）

- ・ 脱穀用水車
- ・ 揚水水車

<参考文献>

- 新谷忠彦（編）.1998.『黄金の四角地帯—シャン文化圏の歴史・言語・民族』. 東京: 慶友社.
- 園江満. 2006a.『ラオス北部の環境と農耕技術—タイ文化圏における稲作の生態』. 東京: 慶友社.
- . 2007b. 「農具から見る水田と焼畑—タイ系民族水田稲作民説の再検証」. 『自然と文化そしてことば』 03, pp.50-61.
- . 2008. 「国境なき『山地民』の豊かな暮らし」. 『ビオストーリー』 第10号, pp.72-73.
- . 2009a. 「ラオス北部における耕具の利用：北西地域3県の調査から」. 『熱帯農業研究』 第2巻別号1, pp.109-110.
- . 2009b. 「農具と農耕技術が描くタイ文化圏」. 新谷・ダニエルス・園江（編）『タイ文化圏の中のラオス—物質文化・言語・民族』, pp.271-309. 東京: 慶友社.
- 園江満・中松万由美. 2009. 「地域としてのラオス北部」. 新谷・ダニエルス・園江（編）『タイ文化圏の中のラオス—物質文化・言語・民族』, pp.10-67. 東京: 慶友社.
- ダニエルス, C. 2002. 「東南アジアと東アジアの境界—タイ文化圏の歴史から」. 中見立夫（編）『アジア理解講座1 境界を越えて—東アジアの周辺から』, pp.137-189. 東京: 山川出版社.